



平成 23 年 10 月 12 日

各 位

会社名 大正製薬ホールディングス株式会社
本店 東京都豊島区高田三丁目 24 番 1 号
代表者名 代表取締役会長兼社長 上原 明
(コード番号 4581 東証第 1 部)
問合せ先 広報室長 坪井正樹
(電話 03 - 3985 - 1115)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等をふまえ、本年 10 月 3 日付で公表しました平成 24 年 3 月期通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の通期連結業績予想数値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	274,000	39,500	45,500	28,000	101.52
今回修正予想 (B)	270,500	36,500	42,000	24,500	296.12
増減額 (B-A)	△3,500	△3,000	△3,500	△3,500	—
増減率 (%)	△1.3	△7.6	△7.7	△12.5	—
(参考) 大正製薬平成 23 年 3 月期 連結実績	268,632	44,082	54,077	34,892	124.90

(注) 平成 23 年 10 月 3 日に、大正製薬の普通株式 1 株に対して、当社の普通株式 0.3 株を割当交付することにより単独株式移転を行っておりますが、上記 1 株当たり当期純利益は、前回発表予想および大正製薬前期連結実績については、大正製薬発行済株式数に基づき計算しており、今回修正予想については、期首（平成 23 年 4 月 1 日）に株式移転があったものと仮定して当社発行済株式数に基づき計算しております。前回発表予想および大正製薬前期連結実績の 1 株当たり当期純利益を当社発行済株式数に換算し計算すると、それぞれ 338.41 円および 416.33 円になります。

2. 修正の理由

—大正製薬第 2 四半期累計期間の業績について

—売上高

セルフメディケーション事業では、ドリンク剤「リポビタミンシリーズ」が、7 月以降の天候不順などにより売り上げが伸び悩んだため、事業全体でも当初予想を下回りました。

医薬事業につきましても、本年 4 月に発売の骨粗鬆症治療剤「エディロール」が計画を下回ったことなどから、事業全体で当初予想比微減となりました。

一利益面

販売費及び一般管理費が研究開発費を中心に当初予想を下回る見込みではありますが、上記のような売上高の状況もあり、営業利益、経常利益、当期純利益について当初予想を下回る見込みです。なお、特別損失として投資有価証券評価損 25 億円余を計上する見込みであります。

(参考) 大正製薬第 2 四半期累計期間 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日) 連結業績予想数値

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	136,500	21,000	23,500	14,000
見込み (B)	132,500	20,000	22,500	11,500
増減額 (B-A)	△4,000	△1,000	△1,000	△2,500
増減率 (%)	△2.9	△4.8	△4.3	△17.9
(参考) 前期第 2 四半期連結実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	133,046	24,635	26,833	16,219

一当社通期の業績について

上記大正製薬第 2 四半期累計期間の連結業績見込を受け、当社通期見込を再度見直した結果、以下のとおり予想を修正いたしました。

一売上高

セルフメディケーション事業については、第 3 四半期以降を概ね当初予想通りとし、通期では当初予想を下方に修正いたします。

医薬事業については、当初の予想通りであります。

一利益面

販売費及び一般管理費が研究開発費を中心に当初予想を下回る見込みではありますが、売上高の下方修正影響により、営業利益、経常利益、当期純利益の予想を下方に修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上